

ダイオキシン類の状況（環境調査）

1 調査目的

ダイオキシン類対策特別措置法第26条第1項（常時監視）の規定に基づき、市内の環境大気、水質（底質を含む）及び土壌のダイオキシン類による汚染の状況を常時監視することを目的として実施しました。

2 調査の種類及び実施状況

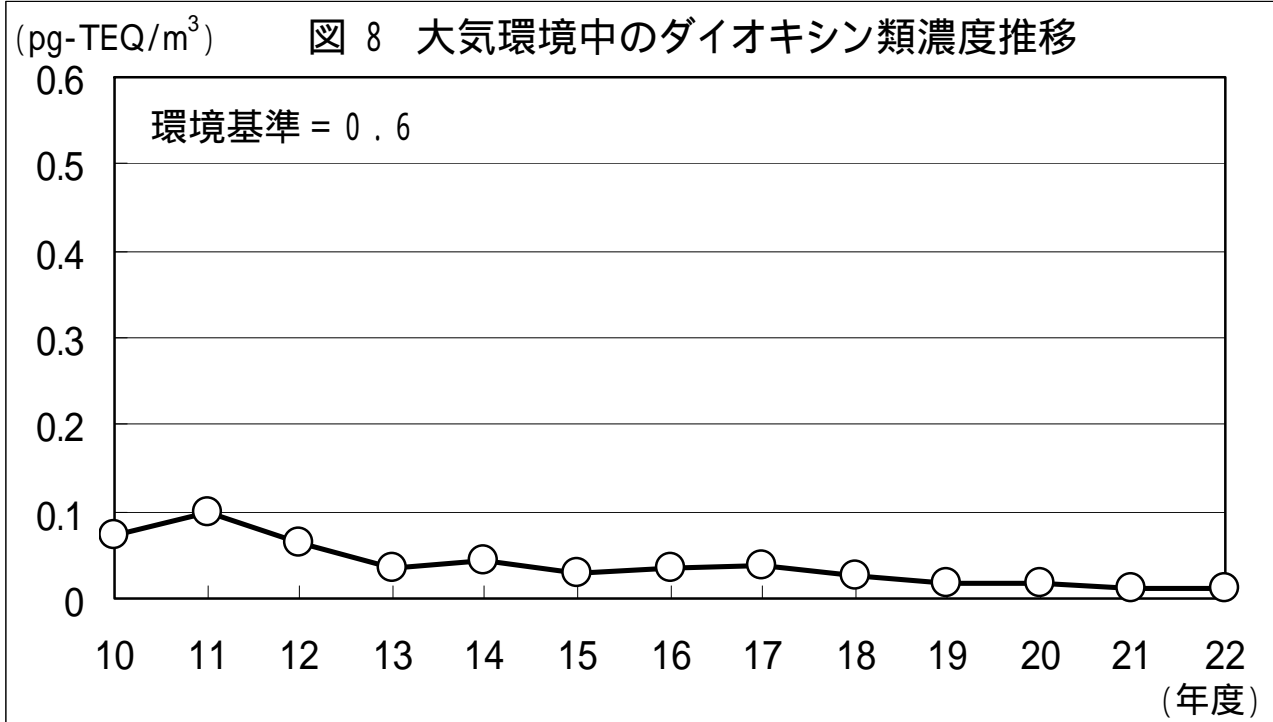
環境大気	市内1地点において、季節ごとに年4回調査を実施。
環境水質	市内2河川において、季節ごとに年4回調査を実施。
河川底質	市内2河川において、夏季及び冬季の年2回調査を実施。
環境土壌	市内の公園及び小学校周辺の土壌4箇所の調査を実施。
地下水	市内10kmメッシュ16地点をローリング方式により、毎年2地点の調査を実施。
発生源 排出ガス	市内1事業場において、廃棄物焼却炉1施設の調査を実施。
発生源水質	市内1事業場において、1回の調査を実施。
発生源周辺 土壌	市内の廃棄物焼却炉を持つ事業場の内、2事業場周辺土壌の調査を実施。

3 結果一覧

全ての調査地点で、環境基準値以内でした。

調査対象	調査地点	測定結果	環境基準	平成21年度全国平均
環境大気	開成地区	0.013 pg-TEQ/m ³	0.6 pg-TEQ/m ³	0.032 pg-TEQ/m ³ (712地点) 濃度範囲 0.0049 ~ 0.37 pg-TEQ/m ³
環境水質	逢瀬川	0.32 pg-TEQ/L	1 pg-TEQ/L	0.19 pg-TEQ/L (1,617地点) 濃度範囲 0.011 ~ 3.1 pg-TEQ/L
	大滝根川	0.10 "		
河川底質	逢瀬川	3.7 pg-TEQ/g	150 pg-TEQ/g	7.1 pg-TEQ/g (1,316地点) 濃度範囲 0.059 ~ 390 pg-TEQ/g
	大滝根川	0.68 "		
環境土壌	開成小学校	0.42 pg-TEQ/g	1,000 pg-TEQ/g	一般環境把握調査 2.1 pg-TEQ/g (717地点) 濃度範囲 0 ~ 85 pg-TEQ/g 発生源周辺状況調査 3.5 pg-TEQ/g (259地点) 濃度範囲 0 ~ 50 pg-TEQ/g
	桜小学校	0.0056 "		
	薫小学校	0.35 "		
	陣場公園	3.4 "		
発生源事業場 周辺	郡山リサイクル協同 組合周辺	4.6 "		
	株式会社東邦興産 周辺	2.4 "		

地下水	咲田二丁目地内	0.057 pg-TEQ/L	1 pg-TEQ/L	0.055 pg-TEQ/L (608地点) 濃度範囲 0.011 ~ 0.88 pg-TEQ/L
	台新二丁目地内	0.056 "		



調査地点：H10,H11 年度 環境保全センター屋上
H12 年度から 開成山公園